

平成30年度・令和元年度
西部地区青少年赤十字活動推進校 実践発表

研究主題

**「子どものよさや可能性を伸ばす特別活動」
～異学年の縦割り班での様々な活動を通して～**

安中市立後閑小学校

1 はじめに

後閑小学校の概要

明治6年（1873年）開校

令和元年：児童数68名（7学級）

職員 県費12名 市費6名



【本校の特徴】

- ・ 豊かな自然
- ・ 素直な児童
- ・ 協力的な地域



学校の裏山(城山)には「後閑城」の跡地



学校目標

「心ゆたかに 自ら学ぶ たくましい 児童の育成」

<合い言葉>

- ぽかぽか (みんな仲よく)
- きらきら (すすんで勉強)
- にこにこ (元気な子)

<目指す児童像>

ぽかぽか	きらきら	にこにこ
<ul style="list-style-type: none">・あいさつや返事のできる子・親切にできる子・進んで清掃や係活動に取り組める子	<ul style="list-style-type: none">・よく聞き考え進んで学習する子・本をたくさん読む子・学習習慣を身に付ける子	<ul style="list-style-type: none">・健康や安全に気をつける子・進んで体をきたえる子・規則正しく生活する子・最後までやりとげる子
あいさつ・返事	進んで学習	健康・安全

ぽかぽかマン・きらきらマン・にこにこマン



2 実践のねらい

これまでの特別活動等を中心にした実践を青少年赤十字の態度目標「気づき・考え・実行する」を意識し、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」に関わる取組を推進することにより「やさしさと思いやり」の心を育んでいく。

3 活動方針

- (1) 児童が主体的に取り組む縦割り班活動を進める。
- (2) 児童会で行う特別活動を中心に進める。
- (3) 青少年赤十字の活動に関わる取り組みを進める。
(現在行っている活動をより充実させる。)



児童会が中心となって、少人数のよさを生かした**縦割り班活動**を行い、**異学年の児童とのつながり**を通して思いやりの心を養う。

4 実践の概要

今までの活動を**青少年赤十字活動**として意識して、年間計画に位置づけ活動をしていくことにした。

< J R Cとしての活動計画 >

年間を通した活動

- 城山タイム
- 体育集会
- 縦割り清掃
- 環境委員会の活動
- 奉仕活動（地域清掃・地域道路ゴミ拾い・花いっぱい活動・校内整備等）
- 人権学習（合い言葉の木）
- さつまいも栽培活動（栽培、収穫、集会）

1学期の活動

- 1年生を迎える会
- J R C集会・J R C講話
- 後閑子ども会議①
- 廃品回収①
- 七夕集会

2学期の活動

- 親子奉仕活動
- あいさつ運動
- 焼きいも集会
- 赤い羽根共同募金・1円玉募金
- 後閑地区文化祭ボランティア
- 廃品回収②

3学期の活動

- 後閑子ども会議②
- 書き損じはがき収集
- 豆まき集会
- 縄跳び集会
- 6年生を送る会

※以下、活動の様子を説明

(1) JRC集会[児童集会]とJRC講話[朝礼] (6月)



JRCとは・・・

- J・・・Junior（青少年）
- R・・・Red（赤）
- C・・・Cross（十字）
- 青少年赤十字のりやく
- せいしょうねんせきじゅうじ



(2) いじめ防止対策に関する取組 (やさしさと思いやりを育む活動)

- ①城山タイム（朝の活動の時間に子どもたちが考えた遊びを縦割り班ごとに遊ぶ活動）
- ②体育集会（朝の活動で行う様々な種類の運動）
- ③人権学習（合い言葉の木）の取組
- ④あいさつ運動
- ⑤後閑子ども会議（年2回：6月・2月）

①城山タイム(ドッジボール・鬼ごっこ・バスケットボール・サッカー・各種ミニゲームなど)



②体育集会(全校リレー、ボール送り運動、いろいろな鬼ごっこ、長縄跳び等)



③人権学習(合い言葉の木)の取組



④あいさつ運動(あいさつとハイタッチ)



⑤後閑小子ども会議(年2回:6月・2月)

<ねらい>

全校児童が、自分たちの学校課題について縦割り班で話し合うことにより、よりよい学校・学級づくりの手立てや工夫について考え、実際に実行しようとする意欲を育む。

【6月】「縦割り班で遊びたい遊びベスト3を考えよう！」というテーマで話し合いを行い、「城山タイム」を実施することになった。

【6月】「休み時間にもっとたくさんの友だちと遊べる工夫をしよう！～『元気アップデー』パワーアップ大作戦！～」というテーマで話し合った。元気アップデー（延長した昼休み）に異年齢が交流できる遊びができるように、高学年が低学年を誘って遊ぶなどの意見が出され実行していくようにした。

【2月】市の「いじめ防止子ども会議」に参加した児童の報告。

その後、「後閑小学校いじめ防止について」というテーマで、自分たちでできるいじめ防止活動は何かを縦割り班で話し合い、学校としてのいじめ防止のスローガンを決定した。





後開小でできる

いじめを防ぐための
について考えよ

1年生

いじめ防止対策推進法
第2条
いじめを防止し、いじめ
を受けた児童の心身の
健全な育成を図るため
に、いじめの防止等
の措置を講ずるもの
とする。

2年生

いじめ防止対策推進法
第3条
いじめを受けた児童の
心身の健全な育成を
図るため、いじめの
防止等の措置を講ず
るものとする。

3年生

いじめ防止対策推進法
第4条
いじめを受けた児童の
心身の健全な育成を
図るため、いじめの
防止等の措置を講ず
るものとする。

4年生

いじめ防止対策推進法
第5条
いじめを受けた児童の
心身の健全な育成を
図るため、いじめの
防止等の措置を講ず
るものとする。

5年生

いじめ防止対策推進法
第6条
いじめを受けた児童の
心身の健全な育成を
図るため、いじめの
防止等の措置を講ず
るものとする。

6年生

思いやりのある
やさしい心
はかばかふるま
う
たくさん使
う
きょうがうけ
る



(3) 奉仕活動

<学校主体の奉仕活動>

- ①地域清掃・地域道路ゴミ拾い活動
- ②花いっぱい活動

<地域や保護者と連携した奉仕活動やボランティア活動>

- ③廃品回収（年2回：6月・11月）
- ④PTA親子奉仕活動（年1回：9月）
- ⑤後閑地区文化祭でのボランティア（11月の2日間）

①地域清掃・地域道路ゴミ拾い活動





②花いっぱい活動



③廃品回収（年2回：6月・11月）



④ P T A親子奉仕活動（年1回：9月）



⑤後閑地区文化祭でのボランティア（11月の2日間）



(4) さつまいも栽培活動と焼きいも集会









(5) 児童が主体となって行う募金活動

- ① 赤い羽根共同募金・ドラえもん募金・1円玉募金 (10月) 人権強化月間に合わせて行っている。



- ② 書き損じはがき収集 (1月)

(6) その他の縦割り班活動等

- ① 1年生を迎える会（4月）
- ②七夕集会（7月）
- ③豆まき集会（2月）
- ④6年生を送る会
- ⑤縦割り班清掃

① 1年生を迎える会（4月）



②七夕集会（7月）



③豆まき集会（2月）



④ 6年生を送る会



5 おわりに（成果と課題）

（1）成果

- これまでの実践を「気づき・考え・実行する」の視点を意識することで、子ども達の主体的な取組が増えた。
- 地域や保護者の方に関わっていただきながら活動することで、地域との連携が促進された。
- 縦割り班での活動を多く取り入れたことで、高学年の児童に自分たちが役立っているという自己有用感を高めることができた。

（2）課題

- 縦割り班をより活発にするように、朝の集会や昼休み等でも多く取り入れて活動を推進してきた。児童数が減少していく中、これからも高学年のリーダーシップを育てながら、計画的・継続的に活動を推進していく必要がある。